

# 第3回Well-being特別セッション 提出資料

直井道生

(慶應義塾大学)

2025年3月26日

経済・財政一体改革推進委員会  
第3回Well-being特別セッション

# 詳細スケジュールや個別論点案

- 本セッションの目標を達成するため、個別分野ごとに論点を検討。
- 各委員とも相談の上、以下のような論点がありうる。

## 【第1回】総論・分野横断

- ・事務局によるこれまでの取組の説明
- ・事務局の問題意識の共有、論点の提示

## 【第2回】労働分野

- ①高齢者（継続雇用、ニーズや体力に応じた働き方、地域における社会参加）
  - ・職場での幸福感・やりがい向上策
  - ・上記の効果の測定
- ②子育て世代（女性の働き方、環境の地域格差、女性特有の健康問題、男性の育児休暇取得率や全国平均だけでは見えない実質的な育児参加促進）
  - ・健康経営など女性の健康支援
  - ・再就職した女性、介護女性の就業継続、働きがい

## 【第3回】地方創生分野・教育分野

- ①地方創生
  - ・関係人口、二拠点居住、人を惹きつける地域
- ②教育（教育環境の地域格差、自己肯定感、非認知能力等）
  - ・自己肯定感、非認知能力の向上（教育×地域の循環モデル）

# 提供したいトピック

## 地方部への移住

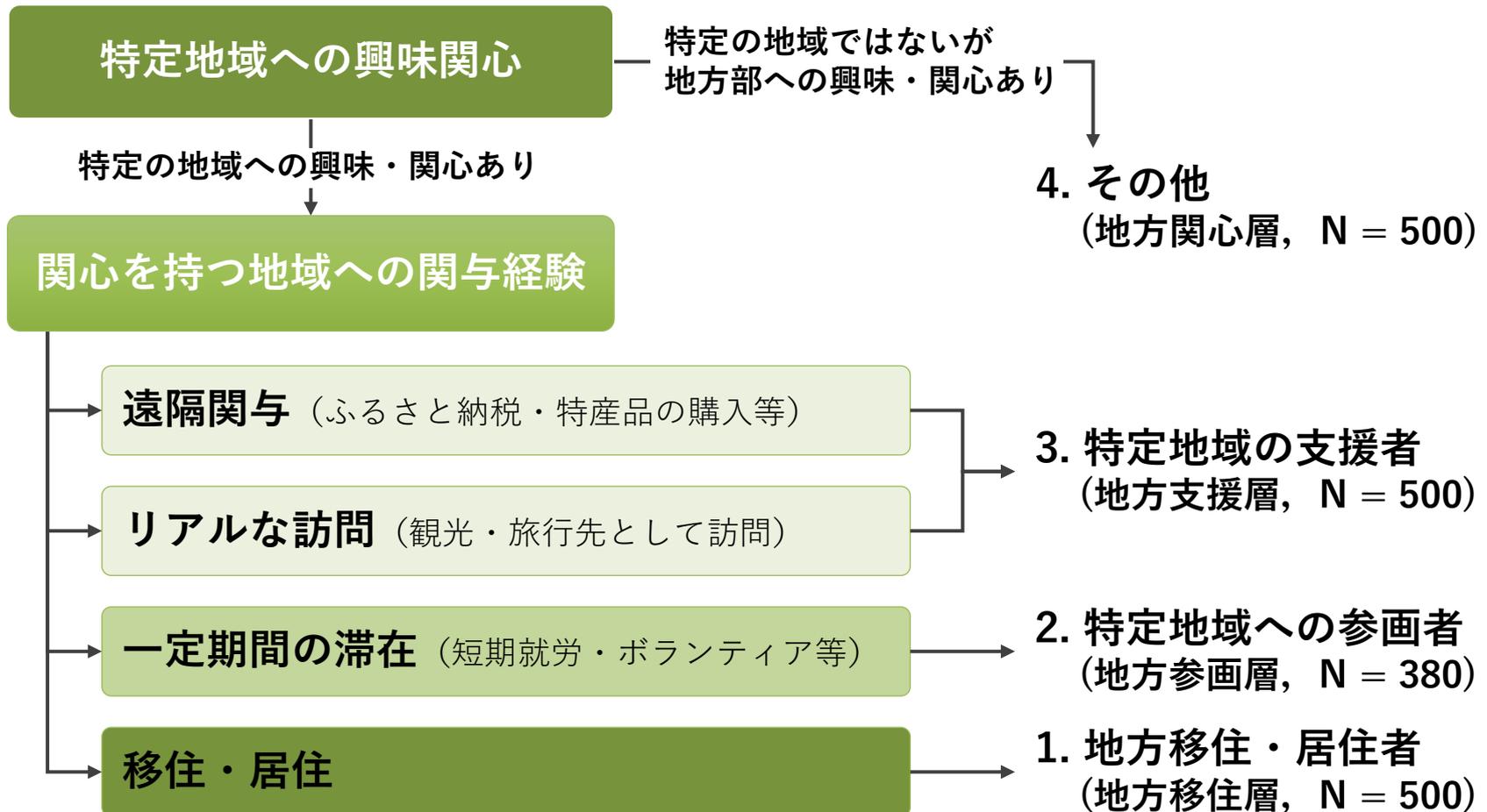
- 地方への移住経験者および移住を検討している層を対象に実施した調査（移住に関する一般生活者調査）の紹介
  - ✓ 地方への関与や移住の現状、移住を後押し／阻害する要因、移住者の継続居住などについての基礎的な調査
  - ✓ 必ずしもwell-beingが直接の焦点ではない
  - ✓ 横断的な調査という限界もある
- 本セッションにおける議論の材料という位置づけ

# 調査の概要

概要	内容
調査目的	地方部への移住を念頭に、地方への関与状況および移住の意向について調査
調査時期	2024年11月20日～2024年11月25日
調査主体	慶應義塾大学・デロイトトーマツコンサルティング合同会社
調査方式	WEBによるアンケート調査
調査対象	全国20歳～89歳の男女 (性・年齢階層・関与経験セグメント(後述)による割付) 回収数は1,880名
調査内容	地方への関心・関与経験(後述)によって 1. 地方移住・居住者(地方移住層) 2. 特定地方への参画者(地方参画層) 3. 特定地方の支援者(地方支援層) 4. その他(地方関心層) でセグメントを定義し、それぞれについて(1)回答者属性(性・年齢・職業 etc.)、(2)地方への興味関心、(3)将来的な地方への関与可能性やその理由・障壁などを調査

# 地方への関心・関与経験

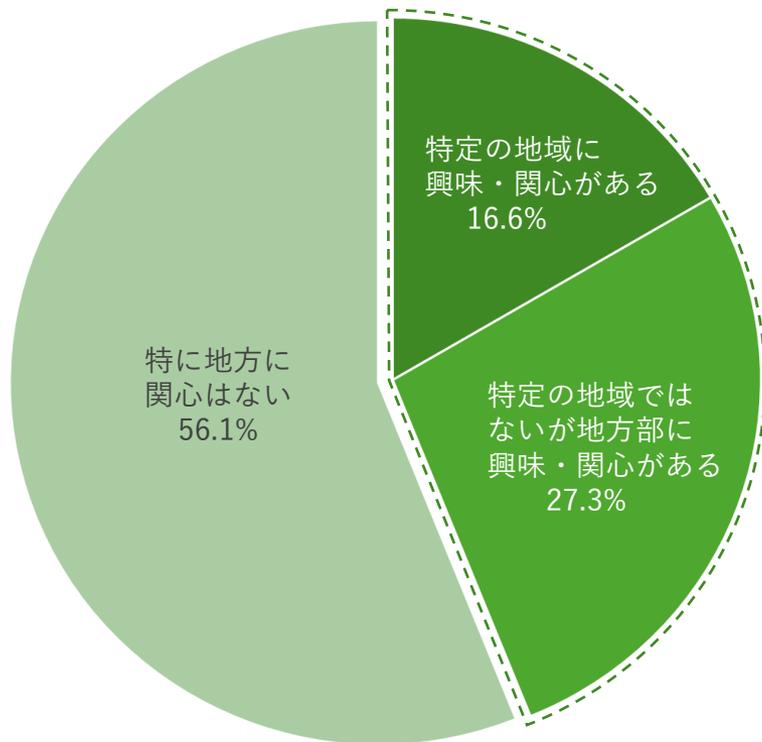
## 地方への関与形態



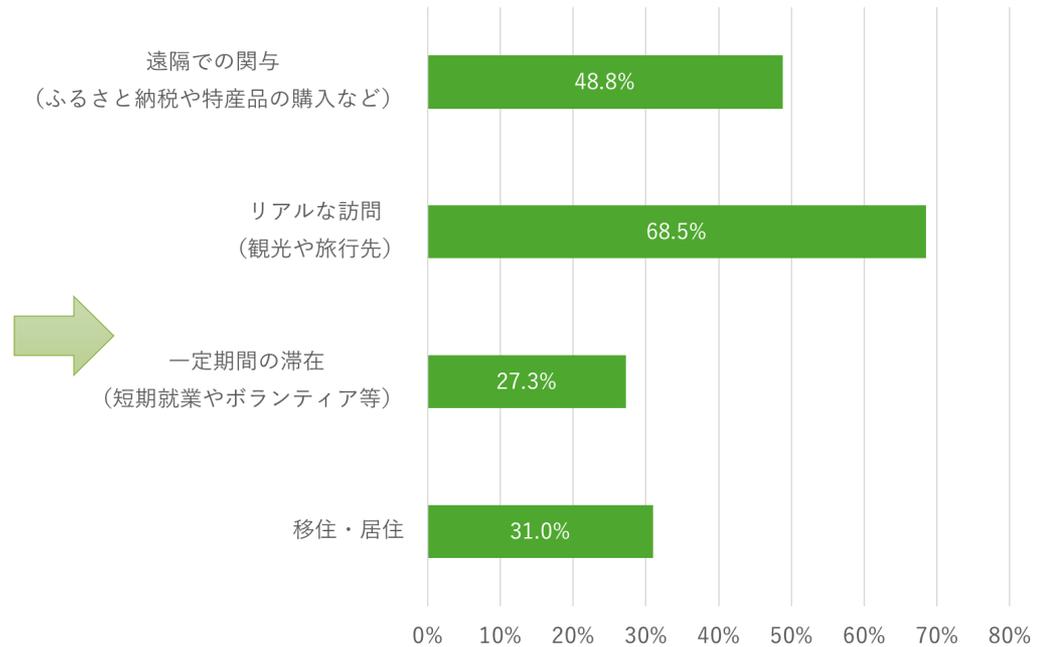
# 地方への関心・関与経験

## 地方に対する興味・関心は低い

現時点での地方への興味・関心



関与の経験・形態



# 基本的属性

## 関与セグメント間の比較

	地方移住層	地方参画層	地方支援層	地方関心層
性別（女性 = 1）	0.48	0.40	0.50	0.50
年齢（歳）	41.4	35.8	42.8	42.9
配偶関係（有配偶 = 1）	0.51	0.37	0.53	0.50
子ども（あり = 1）	0.41	0.29	0.42	0.44
就学・就業				
被雇用者	0.59	0.62	0.66	0.63
自営業・自由業・専門職	0.17	0.14	0.14	0.14
就学	0.07	0.12	0.05	0.05
非就業	0.13	0.07	0.13	0.14
世帯年収（万円）	595.6	636.8	635.5	592.6

# 関与のきっかけ

## 関与のきっかけ

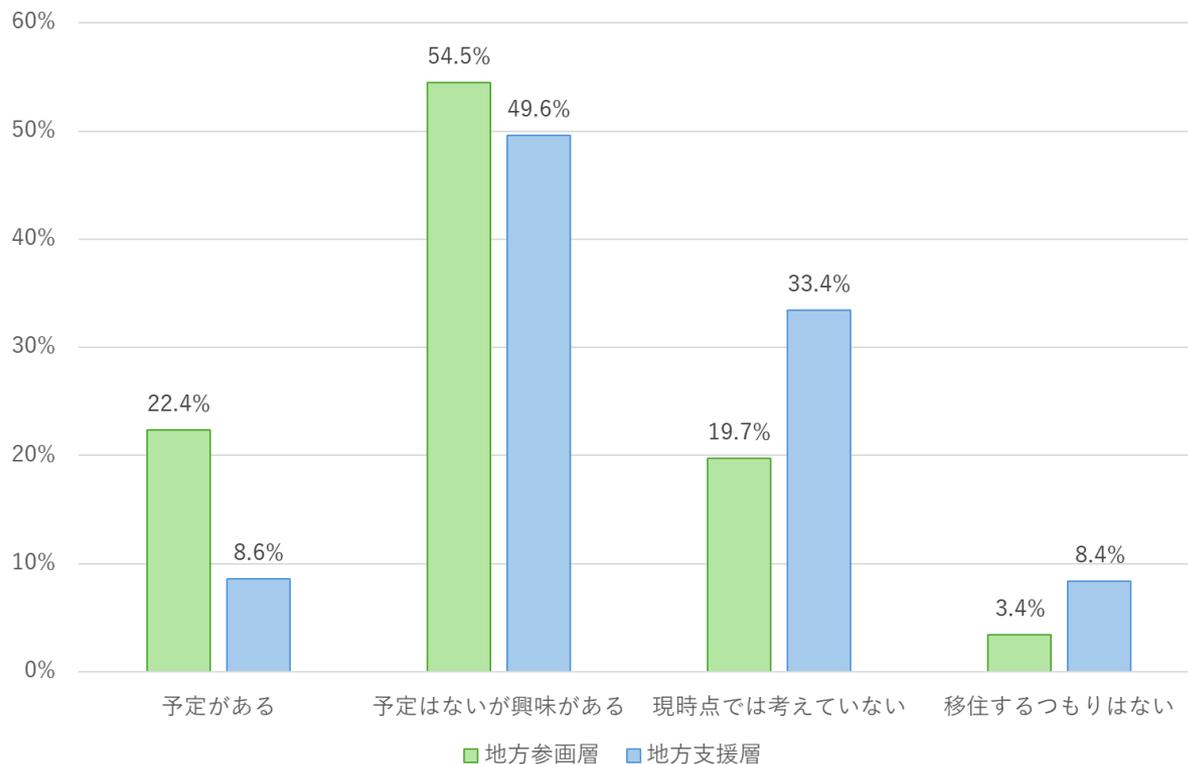
- 非移住者では特産品や食、観光などが中心
- 移住層・参画層では人的ネットワークがきっかけ

関与のきっかけ	地方移住層	地方参画層	地方支援層	地方関心層
特産品の紹介・購入	22.6	37.6	36.0	27.0
ふるさと納税	29.2	42.4	43.0	36.8
食材・料理	34.8	40.3	38.6	30.8
観光・旅行	53.4	55.3	69.2	67.8
自分の趣味	17.0	30.8	15.8	10.4
災害発生など	9.8	19.7	7.2	3.8
仕事での関わり	20.2	31.3	15.2	11.6
寄付や投資	10.0	18.4	6.6	4.0
移住先の検討	34.8	19.2	8.2	7.0
出身者との交流	20.8	28.9	11.6	8.6
過去の居住	10.2	15.8	6.8	3.0
親戚の居住	27.8	23.4	17.0	10.4
友人・知人が出身者／転居	17.0	19.7	8.4	7.4
メディアによる紹介	14.8	19.2	15.6	15.2
ボランティアなど	5.2	10.0	1.6	3.6
その他	8.4	0.8	3.0	1.8

# 今後の移住意向

## 地方参画層・支援層の将来の移住意向

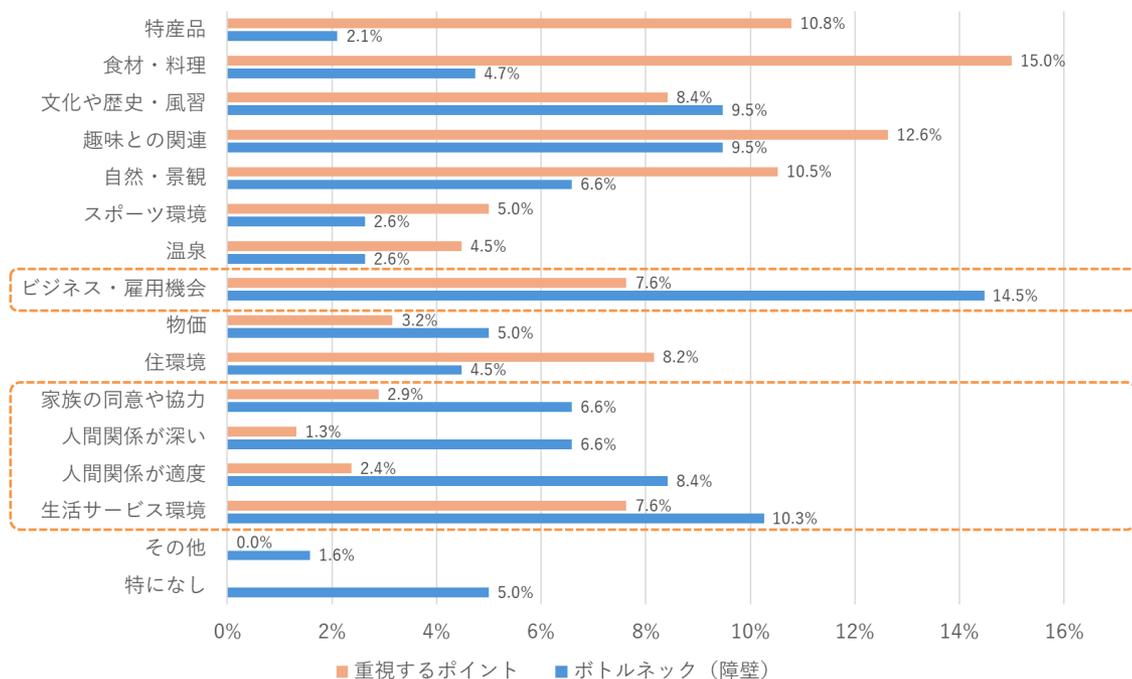
- 具体的な移住計画は一部にとどまるが、潜在的な移住意向は一定程度存在する



# 移住にあたって重視するポイント・障壁

## 移住にあたってのポイント（地方参画層）

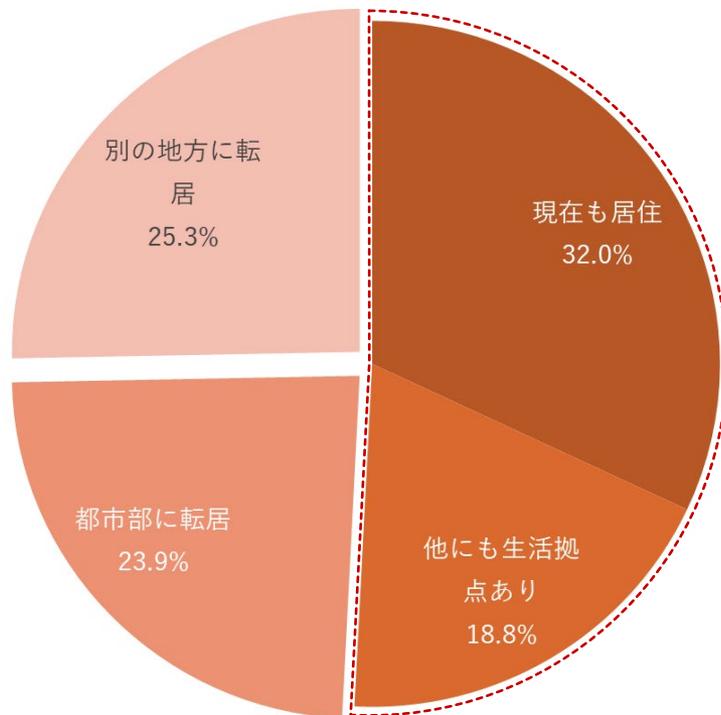
- 特産品や食・趣味・自然環境などを重視
- 雇用機会、生活サービス環境、家族の協力、地域の人間関係などが障壁



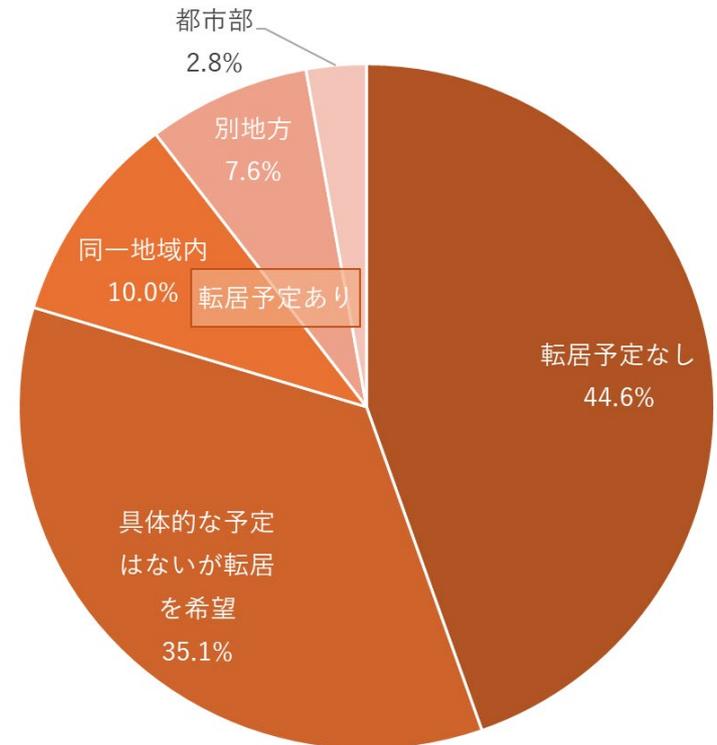
# 地方移住者の現状

## 移住経験者の現在の居住状況・転居意向

現在の居住状況（地方移住者）



将来の転居意向（継続居住者）

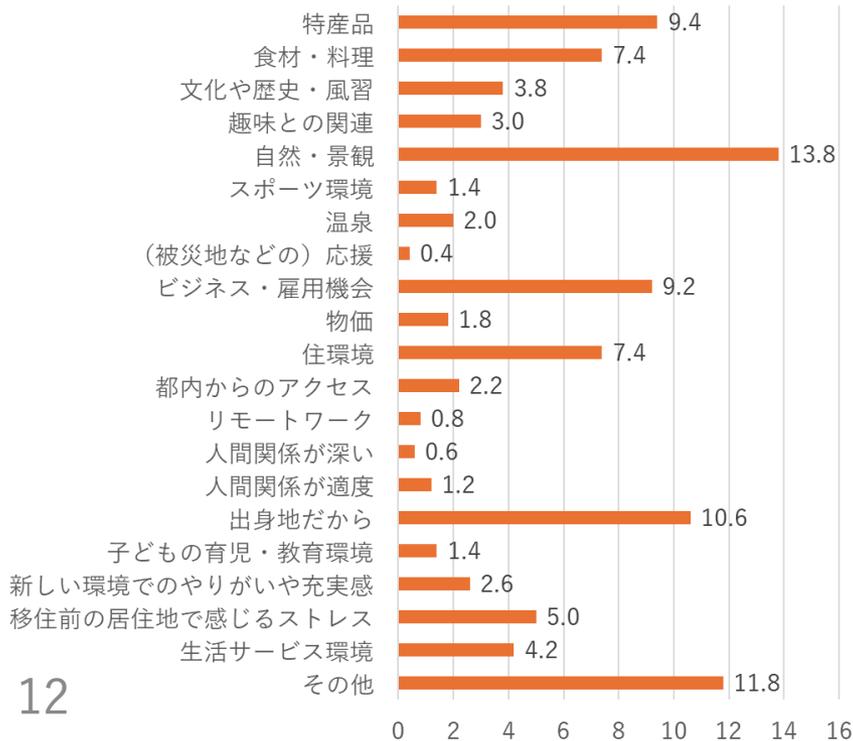


# 移住の後押し・障壁

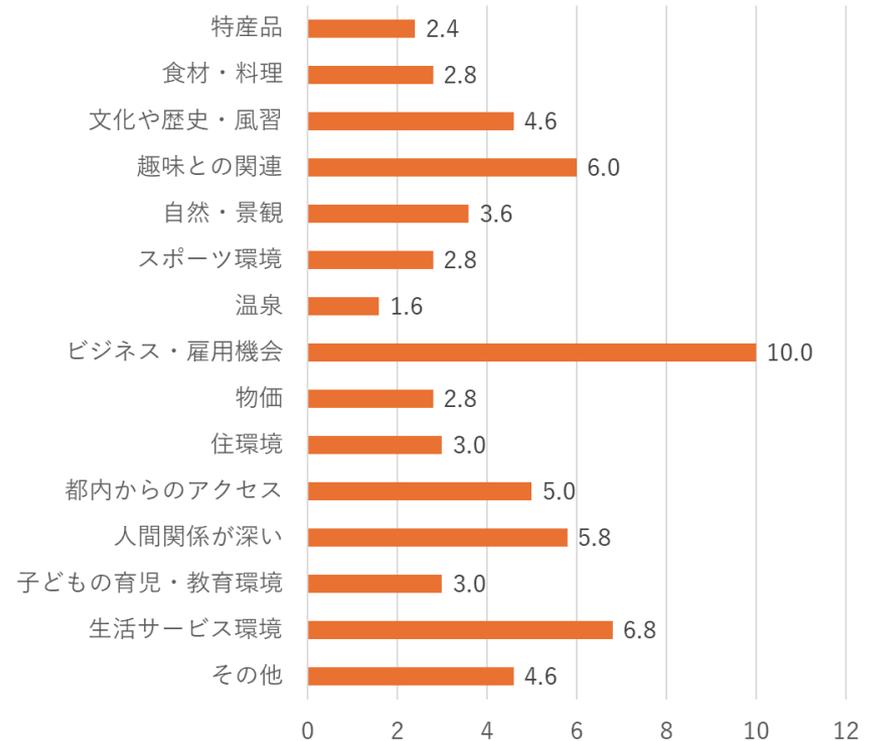
## 移住の後押し・障壁（地方移住者）

### ▶ 地方参画層と類似の傾向

#### 後押し



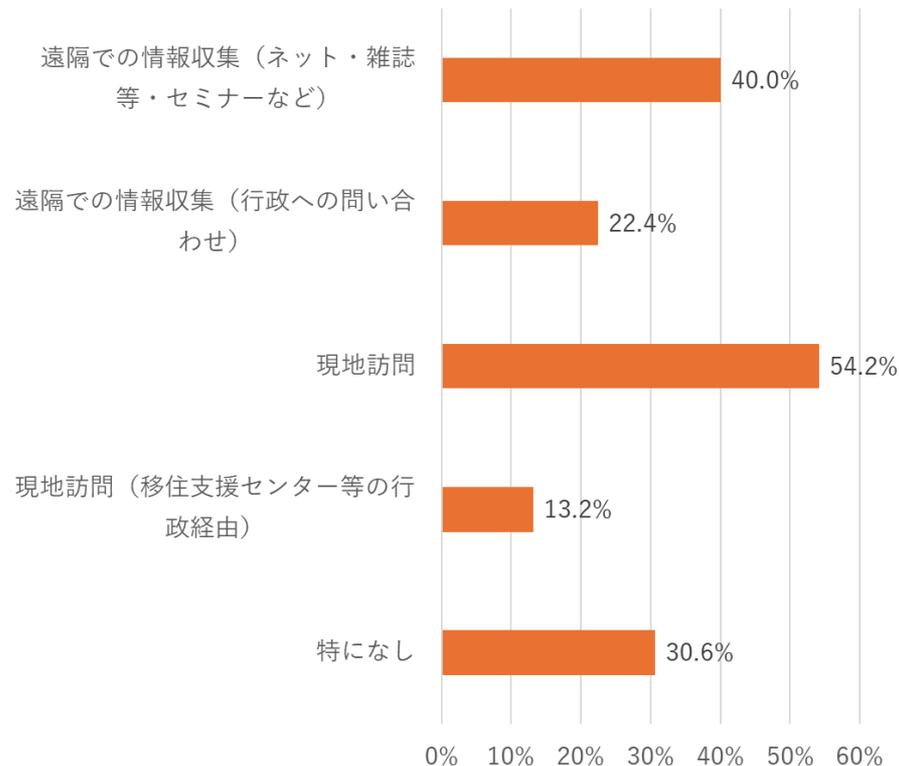
#### 障壁



# 移住決断のための行動

## 情報収集活動

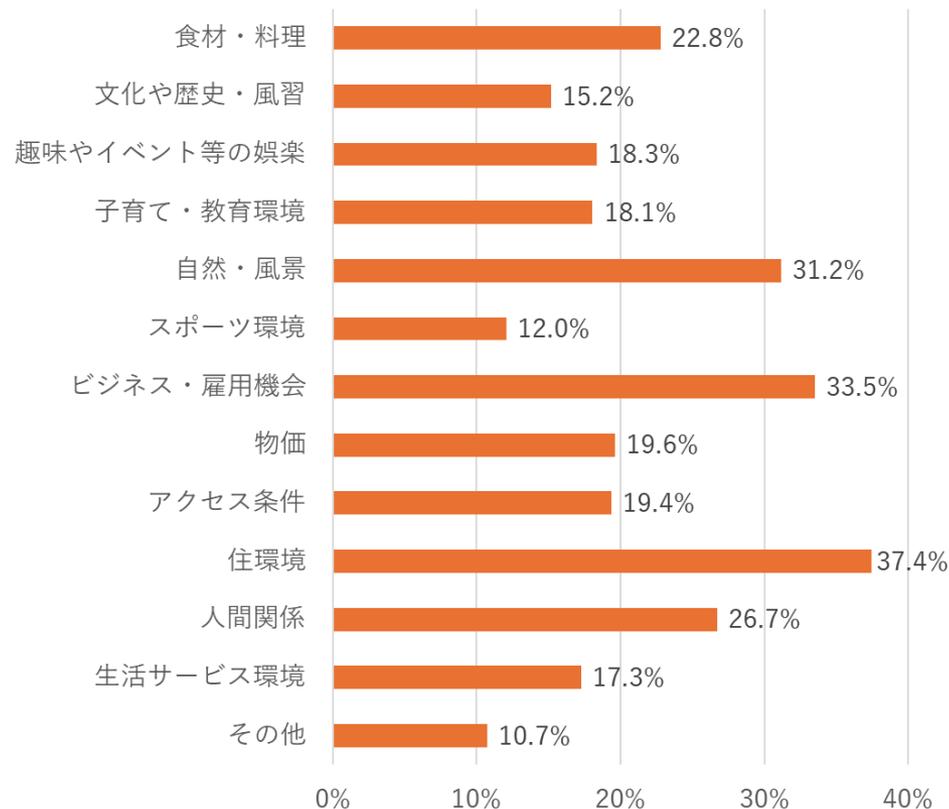
- > 多くはインターネットや個人による訪問
- > 行政支援による情報収集は少ない



# 転出／転出検討理由

## 転居した／転居を検討している理由

＞ 住環境・雇用機会が主たる要因



# まとめ

## 地方移住の現状と要因

- 全体としては地方への興味・関心は必ずしも高くない一方、潜在的に移住を検討する層は一定数存在
- 地方ならではの魅力（特産品・食・自然・文化）が重視される一方、雇用機会や生活サービス環境、地域コミュニティの人間関係といった実際の生活に密着する要因が障壁となっている可能性
- 移住経験者の継続居住に関しても同様の傾向がみられる